

平成30年11月16日

関係高等学校長 様

栃木県高等学校体育連盟中部支部
支 部 長 松本 一夫
【公印省略】

平成30年度中部支部高等学校バドミントン新人大会について

標記の大会を下記の通り開催致します。つきましては、貴校生徒の参加について特段のご配慮をお願い致します。

記

1. 主 催 栃木県高等学校体育連盟中部支部バドミントン専門部

2. 日時・会場

| | | | | |
|---------|-------|----------|------------|---------|
| 男子 | 平成31年 | 1月19日(土) | 河内体育館 | 団体 |
| | | 22日(火) | 清原体育館 | ダブルス予選 |
| | | 28日(月) | 県体育館 | ダブルス本選 |
| | | 29日(火) | 清原体育館 | シングルス予選 |
| 女子 | 平成31年 | 2月1日(金) | 清原体育館 | シングルス本選 |
| | | 1月20日(日) | 河内体育館 | 団体 |
| | | 25日(金) | 清原体育館 | ダブルス予選 |
| | | 28日(月) | 県体育館 | ダブルス本選 |
| | | 29日(火) | TKCいちごアリーナ | シングルス予選 |
| 2月1日(金) | 清原体育館 | シングルス本選 | | |

*男女ともに9時00分集合

3. 競技方法 個人戦…単・複2種目とし、A、Bに分けて予選リーグ・本選トーナメント方式で行う。詳細は【別紙1】を参照。

団体戦…学校対抗の団体戦とし、試合順序は複1・単1・複2で実施する。
トーナメント方式で行い、編成は5名以上9名以内とする。
各校3チームまで参加可とする。
合同チームで参加を希望する場合は、事前に事務局まで申し出ること。

4. 参加資格 1) (公財)日本バドミントン協会に会員登録を完了した者。
2) 現1・2年生とし、個人戦は各校オープン参加(参加制限なし)とする。
3) 単・複兼ねて出場できる。

5. 競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規定による。

6. シャトル 平成30年度検定合格シャトル

7. 参加料 個人戦…1人1種目1,000円
団体戦…1チームにつき2,500円

8. 申込方法 参加申込書を「栃木県高等学校体育連盟/バドミントン部」ホームページからダウンロードし、必要事項を入力したデータを下記メールアドレスへ
12月19日(水)迄にメール送信してください。
※不参加の場合も、必ずその旨ご連絡ください。

申込み宛先: chiba-t01@tochigi-edu.ed.jp

9. 代表者会議 1月10日(木) 9:00~ 於: 県体育館本館大会議室
*各校の顧問の先生はご出席願います。欠席の場合は、申込用紙にその旨記入するか、または当日までに必ずご連絡ください。

〒321-4331 真岡市白布ヶ丘24番地1
栃木県立真岡高等学校 千葉 哲也
TEL 0285(82)3413
FAX 0285(82)2913

【別紙 1】

平成30年11月16日

各校顧問各位

栃木県高等学校体育連盟バドミントン専門部
中部支部委員長 千葉 哲也

中部支部高等学校バドミントン新人大会の競技実施方法について

標記の件につきまして、平成26年度より4年間、試験的に団体戦を実施し、各校のご協力をいただきながら、無事運営することができました。厚く御礼申し上げます。今年度も要項の通り実施する予定です。また、個人戦に関しては、昨年度大会より、新たな形式で試合を実施いたしました。下記の通り補足説明を加えますので、参加、運営に関し、ご協力をいただけますようお願いいたします。実施に際し、お気づきの点等ございましたら、大会前後をとおして、事務局までご意見をいただければ幸いです。

記

<団体戦について>

1 参加形式について

1 チーム 5名以上9名以内で編成し、各校3チームまで参加可とする。その場合、主力チームをAチーム、それ以外をB、Cチームとして申し込むこと。1チーム5名に満たない場合は参加できない。必ず補欠の選手を登録して申し込むこと。また、選手変更は当日朝の監督会議で可能だが、あらかじめエントリーしたA、B、Cチームの選手がそれぞれ別のチームへ登録変更することはできないので注意すること。

2 試合形式について

学校対抗の団体戦とし、試合順序は複1・単1・複2で実施する。トーナメント方式で決勝まで行い、3位決定戦は行わない。ただし、初回戦の敗者は、敗者同士の試合を1試合だけ行う。参加チーム数が非常に少ない場合は、リーグ戦方式での実施を検討する場合がある。なお、各校とも2試合は、複1・単1・複2の試合をすべて実施することとする。それ以降は勝敗が決まり次第、その後の試合を打ち切りとする。

3 合同チーム編成について

部員数が少なく、団体戦のチームが組めない学校同士で、合同チームを編成して参加することは可能である。ただし、すでに1チーム以上エントリーしている学校の生徒を合同チームの選手として参加することはできない。あくまでも、チーム編成ができない学校同士の救済措置である。

<個人戦について>

1 新形式実施の概要等

例年、中部支部新人大会ベスト8以上の選手が、翌年の全国高校総体県予選会への別枠出場権を得られることになっているが、実際は、県新人大会ベスト8以上の別枠出場権とほぼ重複するため、中部支部からの出場権は活用されていない状況である。そこで、より多くの選手が出場の機会を得られるよう、すでに別枠出場権を保持している選手や県新人大会ベスト8以上の選手をAブロック、それ以外の別枠出場権のない選手をBブロックに分けて試合を実施し、Bブロックの上位8名を「中部支部新人大会ベスト8」として、別枠出場権を活用することとした。

2 試合形式等について

| ブロック | 参加資格 | 試合形式 | 備考 |
|------|------------------------------------|----------------------|----|
| A | 平成30年度全国高校総体県予選会ベスト8以上、県新人大会ベスト8以上 | リーグ戦方式および 順位決定戦 | |
| B | 上記以外の選手 | 予選：リーグ戦 本戦：トーナメント | |

注) 次年度の全国高校総体県予選会への別枠出場権を保有している選手は、Bブロックには出場できない。また、保有していない選手は、Aブロックには出場できないので、申込みの際には注意すること。

〒321-4331
 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1
 栃木県立真岡高等学校 千葉 哲也
 TEL 0285(82)3413
 FAX 0285(82)2913